

## 令和4年度第2回沼田市総合教育会議会議録

### 1 開催日

令和5年2月17日（金）

### 2 場所

テラス沼田 庁議室

### 3 出席者

沼田市長 星野 稔

沼田市教育委員会

教育長 竹之内 篤

委員 高橋 昭紀

委員 中村 春夫

委員 永井 和恵

委員 武藤 英子

事務局

北澤昇教育部長、横山隆一教育総務課長、角田巧学校教育課長、小野利明生涯学習課長、角田浩文化財保護課長、永井高士スポーツ振興課スポーツ振興係長、川端正志教育総務課長補佐

### 4 開会 午前9時26分

### 5 市長挨拶

### 6 会議録署名人の指名

市長が武藤英子委員を指名

### 7 議事

議長：星野市長

議題

#### (1) 教育振興基本計画の策定について

○教育総務課長から説明

市長)

- ・これから準備段階に入るという説明である。昨年、教育長と子供の教育については全力を傾注することを確認した。今の説明のとおり、策定委員会（仮称）等でご意見をいただきながら策定をしていくということで、スケジュールもお示しした。教育委員会でも丁寧に進めていくと思うので、教育委員の皆様にもご指導とご理解をいただきたい。この内容でよろしいか。

各教育委員)

- ・はい。

(2) 令和5年度実施予定事業について

○各課長・係長から説明

高橋委員)

- ・スクールバスの運行は、運転手を民間に委託している場合が多いと思うが、バスの購入をせずに、バスを所有している事業者へ委託の方が経費が安いのではないか。

中学校国際交流事業は、今はオンラインだが、実際に海外に行けるようになったら、個人負担もあると思うが、できるだけ多くの希望者が参加できるようにしていただきたい。

教育総務課長)

- ・スクールバスは、路線によって業者委託をしている。運転手を雇用して運行している路線もある。共通しているのは、スクールバスの購入は市で行うということで、委託先にも市のスクールバスを使って運行をお願いしている。バスを所有している事業者へ委託するというご意見を参考に検討させていただきたい。

教育部長)

- ・新年度のスクールバス購入は、起債が使えるので市が購入した方が有利である。有利な財源のないスクールバスについては、高橋委員が仰ったように、以前、業者にバスも含めて委託した場合を想定して、見積もりを取ったことがあるが、通常のスクールバス購入の倍くらい費用がかかるという結果だった。再度、費用の面、管理の面で有効な方法を検討させていただきたい。

学校教育課長)

- ・中学校国際交流事業は、市としてもできるだけ多くの生徒に参加して欲しいという思いはある。令和元年度からは19名に増員した経過もある。新型コロナウイルスの関係で、令和2年度から3年間中止となっているが、来年度は、オンラインであるが希望者全員が参加できるようにしたい。

市長)

- ・英会話は重要である。子供たちにそのような機会を作っていくことが第一歩になると思う。

永井委員)

- ・横塚工場適地発掘調査事業の6億円という額に驚いたが、説明していくのが大変ではないかと感じた。

文化財保護課長)

- ・現在、2年かけて試掘調査を行っている。20人ほど雇用して、直営で発掘調査をする部分と、業者に委託して発掘調査をする部分とで金額が出ている。今後、調査を進めていく中で、費用が安くなるか、更に必要になるのかを試算していきたい。

市長)

- ・横塚工業団地は、本市のここ数十年の悲願であった。少子化が本市の大きな課題であるが、工業団地は、働く場所を作って若い世代が帰ってこられるようにするための挑戦である。発掘調査の実施は法律で決まっている。手間も費用もかかるが、次につながる投資である。将来を考えたときに、沼田市だ

けでなく、利根沼田の産業構造に厚みをつけること、若い世代の経済基盤を作るための先行投資でもある。利根沼田のためになる企業誘致をしていきたい。この発掘調査はその第一歩である。そのような説明をしながら進めていきたい。

中村委員)

- ・トイレの洋式化はどれくらい進んでいるのか。学習机も、学校訪問をしているとだいぶ古くなったり、小さいと感じているので、どれくらいで解消されるのか。

教育総務課長)

- ・トイレの洋式化については、令和4年度から4年間を目安に、洋式化を進める計画である。今年度は、小学校で45台、中学校で18台の修繕を行った。現在、修繕を行っている箇所もある。来年度も、小学校及び中学校で事業を予定している。学校の長寿命化改修工事も予定しているので、順番に対応していきたいと考えている。

学習机については、令和4年度に748台の買い換えを行った。令和5年度では、540台程度を買い換える予定である。トイレの洋式化と同様に、4年間を目安に計画している。

中村委員)

- ・給食費の中学3年生無償化は、大きな費用がかかることなので大変だと思うが、なるべく早めに進めてもらえるとありがたい。

武藤委員)

- ・外国語指導助手設置事業は、ネイティブの方が教えているのか。

学校教育課長)

- ・全てネイティブの方である。

武藤委員)

- ・指導助手の国籍はイギリスとか、オーストラリアとか、アメリカとか、そういう国か。

学校教育課長)

- ・カナダとアメリカである。

教育長)

- ・採用するときは、できるだけ日本で指導経験のある方を任用できるように、直接、面接をして選考している。資格というものがないので、人間的な資質を面接でよく確認するようにしている。経験者を採用するのは、前の職場での評判などの情報も確認しながら、なるべく信頼できる方を採用するためである。そして、沼田市周辺に住んでいただいて、英語指導に当たっていただくようにしている。

武藤委員)

- ・英語学習について、小学3、4年生は週1時間学習か。

学校教育課長)

- ・小学3、4年生は、週1時間の外国語活動の時間を設けている。その全てにALTの先生が入っている。小学5、6年生は、週2時間の英語の授業があるが、そちらにも必ずALTの先生が配置されている。

(3) その他

武藤委員)

- ・部活動について、沼田市も外部コーチの導入を進めているのか。

学校教育課長)

- ・顧問の代わりにもなる部活動指導員は3名、エキスパート事業として年間20回程度指導する方が10名ということで、市の予算で指導を依頼しているのは合計13名である。来年度は、部活動指導員をもう少し増やして、エキスパートを減らしていきたい。その他にも、ボランティア的な形で外部の方のお世話になっている部活動もあるので、実際の人数はかなり多くなると思う。

教育部長)

- ・今後、国で進めようとしている、地域の方々に土日の部活動を担っていただくようになる件だと思うが、学校教育課を中心に、生涯学習課やスポーツ振興課と連携しながら、まず学校関係者や保護者にアンケートを取って、どういった形が沼田市にとって最適かを検討しているところである。今後、徐々に方向性が決まってきたら、教育委員会にも諮りながら進めさせていただきたい。

市長)

- ・本日の活発な意見交換に感謝申し上げます。今後も、いろいろなご意見を出していただきたい。

8 閉会 午前10時26分